



現在マイキッド仕様のコンプリート車も制作中という同道、キャブ・EFI等共に、タンク等のボルトオンパーツが近日発売予定とのことだ。

SURESHOT XL1200R ROCKET CAFÉ

文・写真=伊藤潤一郎 text&photographs by JUNICHIRO ITO
取材協力=シュアショット phone 043-312-0900 <http://www.sureshot.jp>

英国で生まれ、その後に様々な国でアレンジが加えられることで進化を遂げてきたカフェレーサー。近年では世界的な流行を見せるこのスタイルだが、スピニングされたゴールドリフがどことなくチョッパー的要素を感じさせるこのマシンも、そうした流れの中の一台中と云えるだろう。

手掛けたのは、これまで旧車をメインにカスタムを施してきた千葉のシュアショットなのだが、同店ではラバーマウントスポーツ用のボルトオンパーツの開発も兼ねてこのカフェ

レーサーの製作に着手したとのことと、ご覧のように、近日発売予定となる外装類の完成度は写真からも分かるとおりかなりハイレベル。特にこのマシンのベースとなったモデルのネガな要素である幅の広いシートレール部の処理は特筆すべき点で、フェアリングからタンク、そしてテールカウルまでが流れるようなラインで結ばれている。

時代の流れに応じて柔軟に対応する姿勢。それもまたプロビルダーならば持ち得るべき能力の一つか……。



①ハイトを抑えることでレーサーなムードを演出する非オリジナルフェアリング。カーボンの継目がしっかりとレーザーカット。②キャブはHSRをセット。ファンネルはステンレス製のワンオフだ。③タンクもフェアリング同様、カーボン素材のオリジナル。ゴールドリフはRIO STUDIOによるものだ。④幅の広いシートレールを極力スリムに見せるシュアショット製テールカウル。STUDIO WOKINIによるシートも秀逸である。⑤リアサスはオーリス製をセット。ホイールサイズは18"にインチアップされている。⑥座下に隠められたサイレンサーはBUB製から流用。表面には高弾性、耐久性に優れたセラコートが施されている。

